

ロシアンセージ

ブルースチール Blue Steel

学名: *Perovskia atriplicifolia*

開花に関する重要な特性:

- 日長反応について: 開花が日長に左右されない中日植物。
- 低温処理の有無: 開花は温度に関与せず低温処理が不要。
- 強光条件を好み、光条件蓄積量によって開花する。

プラグ生産ステージ

培地

水はけが良く、病害のないクリーンな用土を使用する。
pH は 5.8 から 6.2、EC は 0.75 から 1.0 mmhos/cm とする。

播種

1 粒播種には 288 穴プラグトレイまたは 180 穴プラグトレイを用いる。128 穴以上のプラグトレイには 1 穴につき 2~3 粒を播種する。パーミキュライト等でカバーすることで保湿効果が増し、発芽が良く揃う。

ステージ1 播種後 2~4 日で発芽が開始される。

地温: 18 から 22°C に保つ。

光条件: 条件として補足的に必要。

水分: ステージ1の期間はややウエットに保つ(水分レベル 4)。

湿度: 幼根が発生するまでは 95 から 97% に保つ。

ステージ 2

地温: 18~20°C が適正。

光条件: 26,900 ルックス (2,500 f.c.) を上限とする。

水分: ステージ1に継続して高い水分レベル 4 を維持する。

施肥量: レート 1 (窒素量 100ppm 以下で EC が 0.7 mmhos/cm 以下) のリン酸値が低い硝酸態の肥料を施用する。

湿度: 80 から 85% を維持する。

ステージ 3

地温: 18 から 20°C が最適条件。

光条件: ステージ 2 と同条件を維持。

水分: ステージ 2 よりも乾燥気味の水分レベル 3 とする。

施肥量: 施肥量を増加させレート 2 (窒素量 100~175ppm で EC が 0.7~1.2 mmhos/cm 以下) とする。

矮化剤: 当品種は遺伝的にコンパクトであり基本的に不要であるが、必要な場合には国内で施用可能な薬剤で適宜使用する。

湿度: 70~75% を維持する。

ステージ 4

地温: 15 から 18°C が適正。

光条件: 温度管理が可能であれば 54,000 ルックス (5,000 f.c.) まで可能。

水分: ステージ 3 と同条件とする。

施肥量: ステージ 3 と同条件とする。

ピンチ(摘芯): 早期のステージでのピンチは多くの分枝を発生させる為に推奨するが、その為に出荷期間が遅れる原因となりうる。より分枝を促す為には 3~4 節を残してピンチを行う。

鉢上げから出荷まで

ポットサイズ

ポットサイズ	1 粒播き 288-180 穴 トレイプラグ	2~3 粒播き 128 穴以上 トレイプラグ
12 cm	1	不適合
18 cm	1~3	1
30 cm	3~5	3

用土

pH 5.8 ~6.2、EC 1.0~1.2 mmhos/cm. 程度の水はけの良い病害のないクリーンな粗めの培地を用いる。

温度

夜間温度: 13~16°C

昼間温度: 18~22°C

※: 特に低日照、低温下での栽培では低温により茎が硬直し生育が緩慢となる。
また、強い降霜時には葉のダメージを受けやすい為、屋外栽培時には当該期間を避けて栽培する。

光条件

強い光条件を好み、その蓄積量により開花が早まり茎も強健となる為、温度管理ができる範囲内で強い光条件下で栽培を行うことが好条件となる。

日長反応

当品種は開花に日長の影響を受けない中日植物。

灌水頻度

常に萎れる状態を回避する為には平均よりも若干乾燥気味となるように灌水量をコントロールする。

施肥量

当品種は平均的な施肥量を必要とし、窒素量 150～200ppm のバランスのとれた肥料または 75～100ppm の液体肥料を定期的に灌水と併用して行う。また、用土 pH は 5.8～6.2、EC は 1.2 から 1.5mmhos/cm が適正値となる。

矮化剤

ステージ 3 と同様とする。

ピンチ(摘芯)

プラグ栽培時にピンチを施していない場合には必要となり、鉢上げ後 2～3 週後の 4～5 節を残して行う。
※: 鉢上げ後のピンチは栽培期間が長くなり出荷期にあわせて調整が必要。

平均的な生産期間

播種から鉢上げまで

プラグサイズ	春季出荷(週)	夏季出荷(週)
1 粒播種 288 穴	6～7	5～6
1 粒播種 180 穴	8～9 ピンチあり*	6～7 ピンチあり*
2～3 粒播種 128 穴以上	8～9 ピンチあり*	6～7 ピンチあり*

*ピンチなしの場合には 1～2 週短縮となる。

鉢上げから出荷まで (288 穴プラグ苗)

ポット サイズ	1 鉢あ たりプ ラグ数	鉢上げ後週数		総生産週	
		春出荷	夏出荷	春出荷	夏出荷
12 cm	1	11～13	9～10	17～20	14～16
18 cm	1～3	12～14	10～11	18～21	15～17
30cm	3～5	13～15	11～13	19～22	16～19

病害虫情報

害虫: ハダニ、アブラムシ、ホホワイトフライ。

病害: 特になし。老化気味の葉が黄色化する原因は EC 値が低いことが原因。

花壇定植及び造園用苗としての利用特性と注意点

- 当品種は初年度開花型宿根草で耐寒性がある。(USDA ゾーン 4～9 (最低温度 -34～-7°C))
- 強い降霜期間を避け、日当たりの良い場所に定植する。
- 7 月から 9 月まで夏季期間に継続して開花し耐暑性が高く乾燥に耐える宿根草である為、造園用に最適。
- 水はけのよい用土を選び 30～35 cm の定植間隔を設ける。

EC 値について: EC (電気伝導度) はピート主体の北米の用土を算出の基準としており、条件によって適合し得ない場合もあります。

注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてご利用下さい。生産された植物は、気候条件や地理的な緯・経度、または作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります。
- 殺虫・殺菌剤、または矮化剤の使用についての記載はあくまでもガイドラインであり、必ず使用方法を正しく読み、使用者の自らの責任のもとでそれに則した正しい使用法で施用しましょう。

630 231-1400
panamseed.com

© 2015 Ball Horticultural Company 16134 12/15
™ denotes a trademark of and ® denotes a registered trademark of Ball Horticultural Company in the U.S. It may also be registered in other countries.

PanAmerican Seed.